

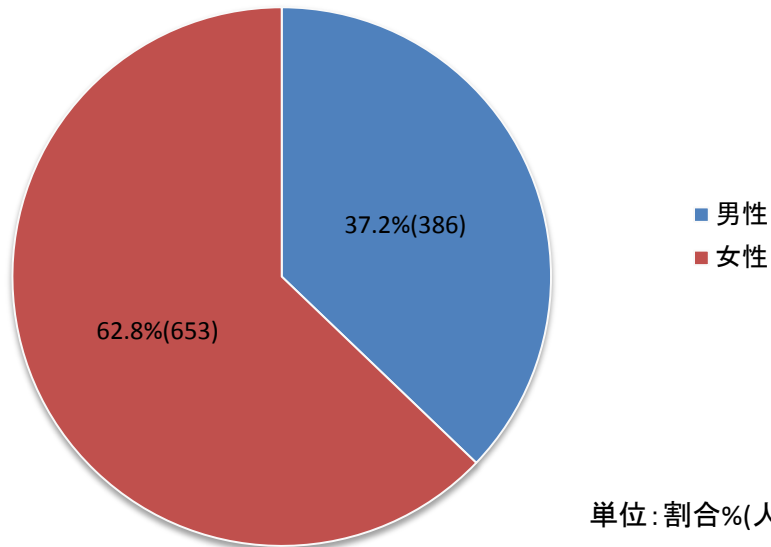
第8回eモニターアンケート「自転車の安全利用について」

実施期間
回答数

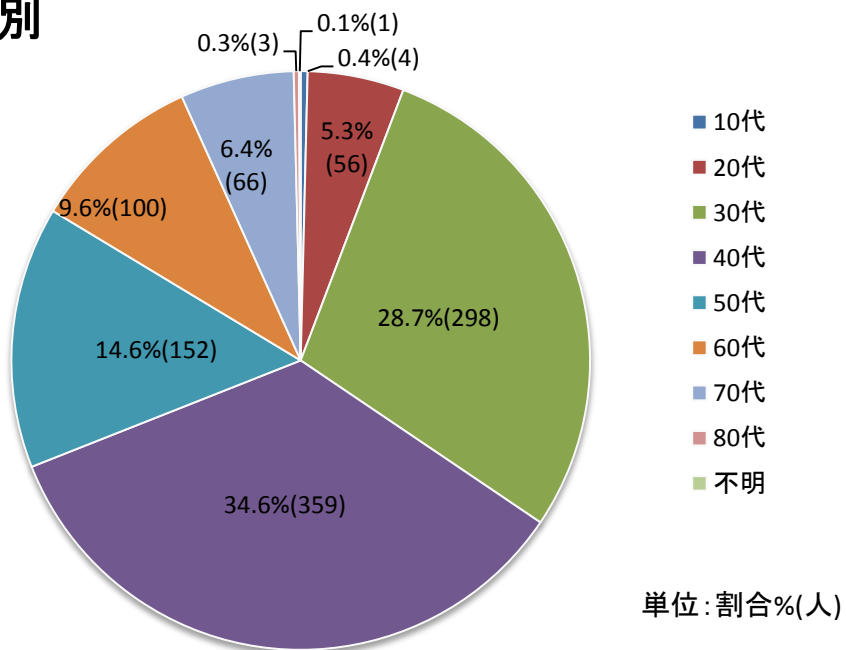
平成28年11月7日 ~
1039 人

平成28年11月16日

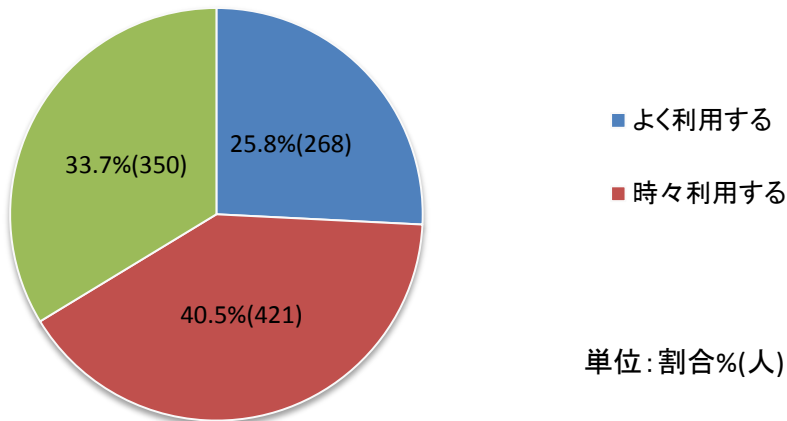
性別



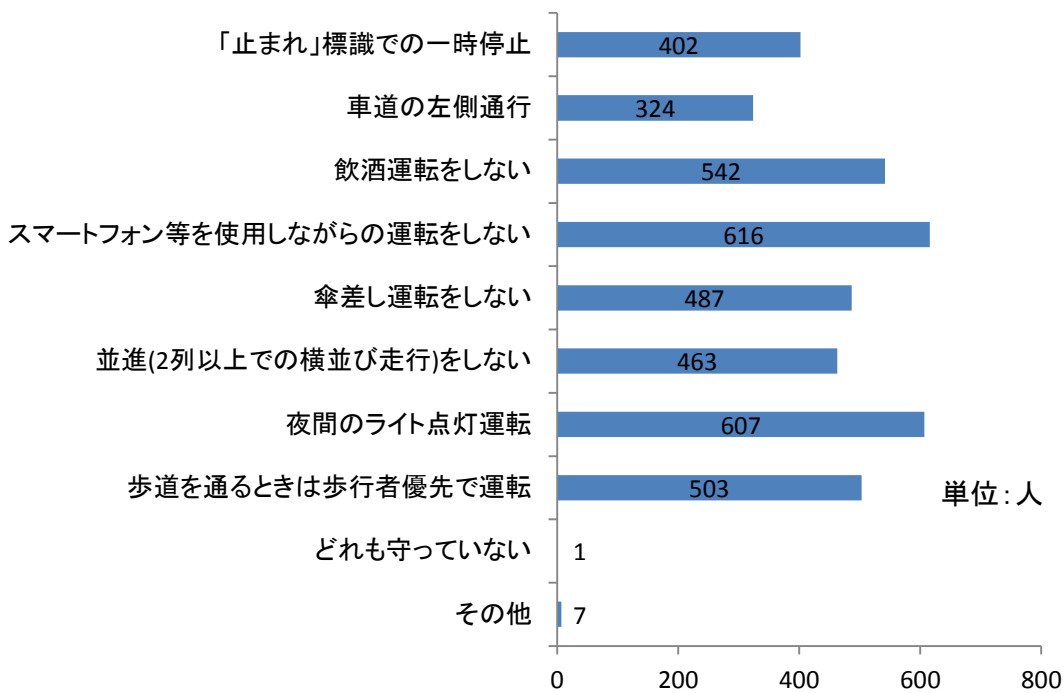
年代別



問1:自転車利用状況



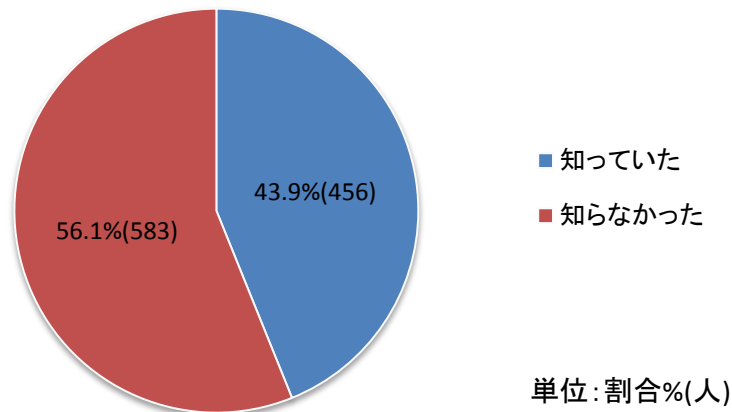
問2:自転車利用時に守っている交通ルール (複数回答)(問1で利用すると回答した人)



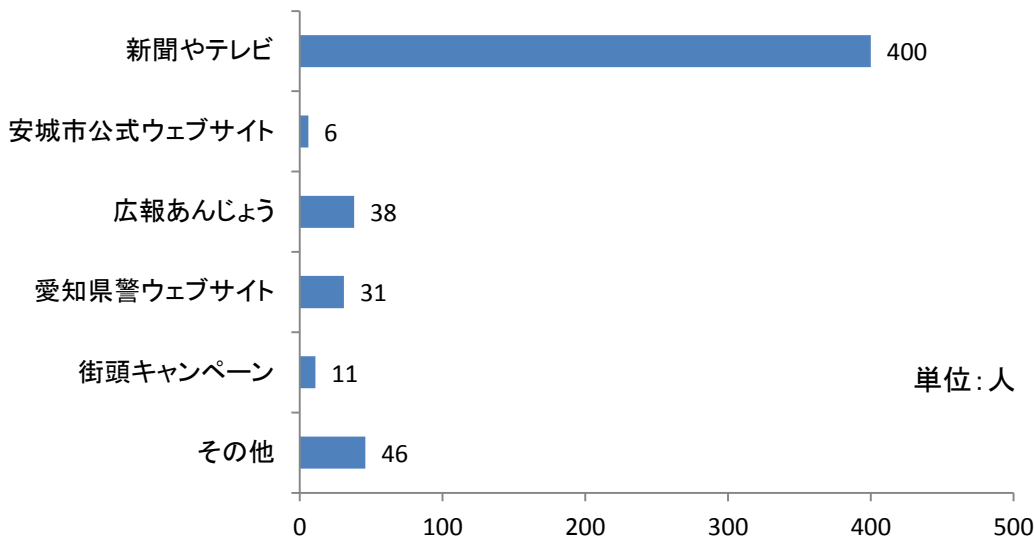
【その他意見】

- ・ 歩道を走っている時に歩行者と対向する時は自転車を降りる
- ・ なるべく歩道のあるところを通る(高齢者ゆえ、歩道通行を心がけている)
- ・ 適正な速度で走行する
- ・ 車道を走ると車に邪魔者扱いされる
- ・ 地下道路は歩いて渡る
- ・ 車同様に口に出す呼称運転を実施
- ・ ゆっくり運転・斜め横断

問3:悪質運転者への「自転車運転者講習」 受講義務付けの認知度



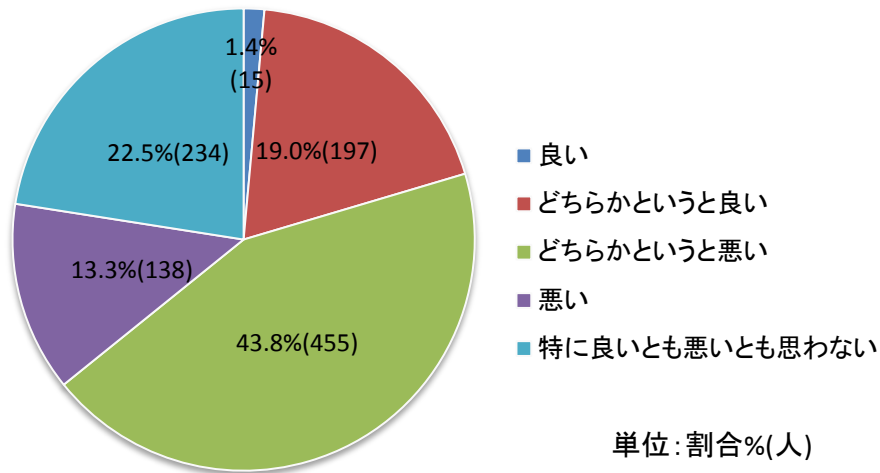
問4:自転車運転講習をどのようにして 知ったか(複数回答) (問3で「知っていた」と回答した人)



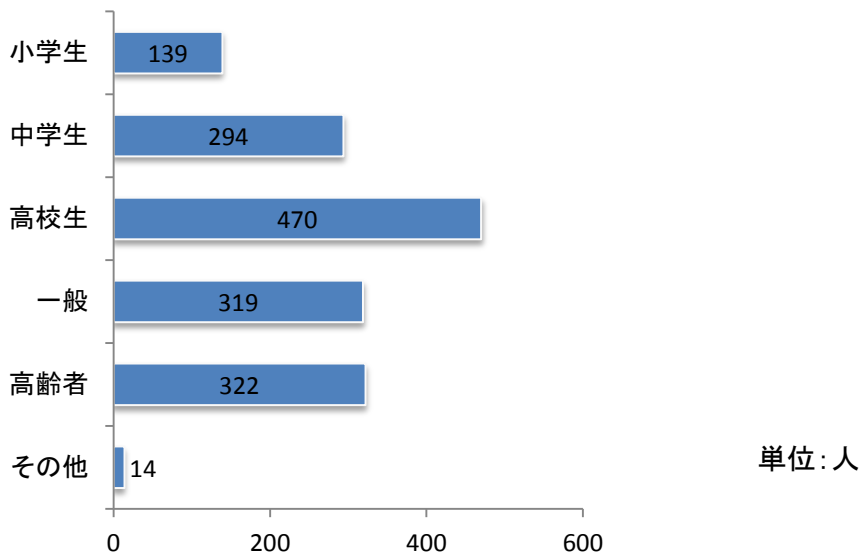
【その他意見】

- ・ 免許更新
- ・ 子供の学校での自転車講習会で
- ・ 職場
- ・ 町内のグループが教えてくれた
- ・ 自転車屋さんから聞いた
- ・ 運転講習
- ・ 市の講演会
- ・ 知人から聞いた
- ・ 警察の講話
- ・ 会社や子供から
- ・ 人づて
- ・ ウェブのニュース
- ・ お店の掲示物
- ・ 会社の告知
- ・ 学校からのプリント
- ・ 自転車講習
- ・ 職場での情報展開
- ・ 雑誌(自転車)、自転車メーカーのweb
- ・ ネットの各種サイトでの情報
- ・ 会社で掲示されていた
- ・ 安城自動車学校で教えてもらった
- ・ ニュースサイト
- ・ 学校のお知らせ
- ・ PTA活動

問5:市内の自転車運転者のマナーを どう思うか



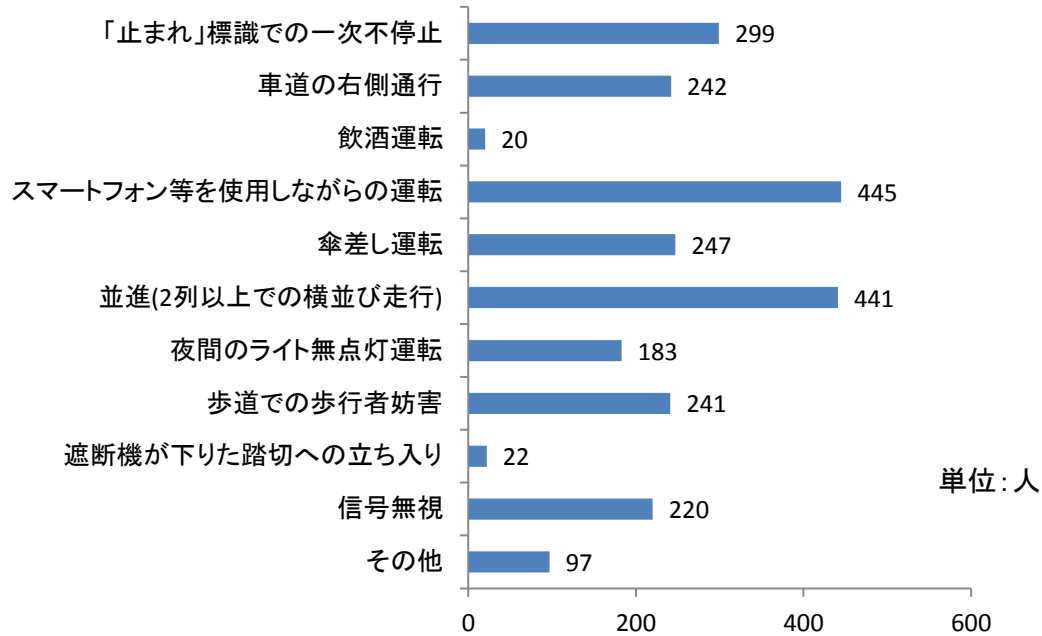
問6:どの世代のマナーが気になるか (複数回答)(問5で悪いと回答した人)



【その他意見】

- ・ スポーツタイプに乗ってる人が、自転車OKの歩道を走らずに、わざわざ狭い道路を走ってる。
- ・ 自転車競技の練習をしている人
- ・ 自動車免許所持していない人は車に対しての危険予知が甘いと思う
- ・ 年齢層に関係ない
- ・ 特に限定は出来ないがマナー違反を時々見かける
- ・ 外国人の労働者
- ・ 外国人
- ・ 自転車の通勤者
- ・ 20代30代独身者
- ・ いわゆるロードバイク
- ・ 全員

問7:どのようなマナーが気になるか (複数回答)(問5で悪いと回答した人)



【その他意見】(抜粋)

- ・ ロードバイクとかがとにかく怖い。自転車用に整備されていない車道を、自動車と同じ感覚で走られては危ない。
- ・ 周囲を確認しないまま突然道路を横切ったり飛び出したりする
- ・ 車道を走るの正しいのかもしれませんが、運転しているととても邪魔で怖い
- ・ 交差点でスピードを落とさず勢いよく飛び出す曲がる
- ・ 駅での駐輪マナーが悪い
- ・ 車道中央付近走行、周囲確認しないままの進路変更など
- ・ 小学生がヘルメットを被らずに自転車に乗っている
- ・ 速度が速い
- ・ イヤホンで音楽を聴きながら運転していて周りの変化に気が付かない
- ・ 車道の斜め横断や停止した車と車の間をすり抜ける
- ・ 信号がない所の横断
- ・ スピード、左右確認不足、飛び出し、ヘルメットなし
- ・ 車道にはみ出しすぎ
- ・ ななめ横断
- ・ 自転車道での散歩(歩行者の道路があるのに利用していない)
- ・ 後ろを確認せずに車道に入る

歩道が片側にあるのにそちらを通らず、危険な歩道がない側を通る。自転車は車道が基本だ
・ と思うが、自転車と車ではスピードが違うため、安全の為、歩道がある場合は、そちらを通るべきと思います。

- ・ 細い道で、真ん中を走っている、左右の確認を怠っている
- ・ 平気で車道を横切る高齢者の運転。
- ・ 交差点で一時停止をしないで、そのままスピードを出していくので、とても危ない。
- ・ タバコを吸いながらの運転
- ・ 車道の真ん中を通行し、後ろから車が来ても避けない

・ 高齢者は、信号だけでなく、交差点も他人(車)も無視。道の真ん中を止まりもせずに、よろよろと進む人が多い。

- ・ スピードを出しすぎで怖いです
- ・ 高価な自転車で速い速度で車道を右往左往しながら迷惑になる走行
- ・ 高齢者は、悪いというか怖い。
- ・ 自転車専用があるのに、歩道を通る
- ・ 横断歩道のない道路を強気で渡る態度や集団で渡り始める。みんなで渡れば怖くない的な!?
- ・ 後ろも見ず勝手に斜め横断
- ・ 高齢者の斜め横断 左右の確認なし。
- ・ 脇道からの飛び出し、スマホしながら運転
- ・ 学生はスピードの出し過ぎ 高齢者は自己中心的な乗り方
- ・ 歩道でスピードの出しすぎ、原付より早く走っている。
- ・ 傘差しながらスマホをいじり自転車漕いでいる学生がいて危険な目にあった。
- ・ 歩行者と自転車の区分がある時、左側の車道側を通ることが分かっていない人が多い。
- ・ 歩道を速いスピードで走る。無灯火でスピード出して乗っている人もいる。
- ・ 歩道橋での自転車の乗車。
- ・ ロードバイクに多く見られる車をすり抜ける無理な走行。
- ・ 左右を見ずに交差点に進入通過。歩行者や車が止まると思い込んだ運転が目立つ
- ・ 路地や私有地(マンション・アパート等)から公道への左右未確認での飛び出し。

・ 車道を無理やり横切る。道路の真ん中を平気で走り、後ろからくる自動車を無視する。競技用自転車で歩道を猛スピードで走る。

- ・ 子連れの親が右側を並走して、尚且つその右側を死守して車道へ追いやる行為(どかない)
- ・ 車道を逆走。こちらは正しい方向で車道を走るが無灯火で危ない。考えられない。

・ 高齢者が車道の真ん中を通行し、かつ、信号交差点での右折の際、自動車と同じようにしていた。

問8:自転車運転者のマナーアップを図るには、市や警察はどのような取組をすると良いと思いますか。(抜粋)

自転車は各ご家庭で便利で手軽な乗り物として定着し必需品であると存じます。従って、直ちに「刑事罰」で取り締まるのではなく、先ずは、地域の皆様に「安全運転のマナーについて」良く知って頂き、次に、自分はマナーを守れているかをチェックして頂ける様式のパンフレット(チラシ)を作成し、年に数回「自転車安全運転マナー向上週間」を制定し、社協や町内会の皆様のご協力を得て、駅前や主要交差点・公共施設・スーパー出入り口などで、自転車の利用者に先のパンフレットを配布して注意・ご協力をお願いしてはと存じます。

0の日だけでなく、抜き打ちで、交差点等でマナーアップの注意促す。

町内の回覧板などに、警察からのお知らせを、挟む。

学校、地域、企業等での交通安全教室 例えば町内会活動の行事に組み入れるよう要請し・幅広い層の参加を求め警察官より指導してもらう。

定期的に講習会または勉強会(企業・学校)を実施して、普通自動車同等の扱いにしてもらいたい。

特に高齢者に対して、自転車運転だけでなく、交通ルールを守ることの必要性をしっかりと指導すべきだと思います。「年寄りだから仕方がない。ごめんねって言えば許してくれる。」という高齢者もいます。ダメです。講習会だけでなく、実際に路上で声をかけることが有効だと思います。取り締まりという堅苦しいことではなく、挨拶ついでに一言。”お巡りさんが見てるぞ。””横着すると注意されるぞ。”というわさが流れることを期待しています。

小学生が右側通行をすることが多いので、その危険を車の運転手の立場から理解してほしい。そのためには、具体的に車とスタントマンを使った実演を安城市内の全部の学校で行ってほしい。高学年で、一度は見たことがあるという間隔で、各校を巡回すればいいと思う。

自転車道の整備。歩行者と自転車、車をしっかり分け、安全に自転車が走れる環境がなければマナーも良くならないと思います。

地域での行事等で、市民憲章の唱和が行われているが、これに追加して「自転車運転マナー」「交通事故防止マナー」のようなものを作成して広報、などで周知するとともに「市民憲章の唱和」に合わせて今日は「自転車マナー」、今日は「自動車マナー」などと集会の趣旨、対象者にあった「〇〇マナー」を唱和してもらう。

自転車専用レーンの整備。特に通学路になっているあたり。歩道を並走ってきて、大変迷惑。ベビーカーで散歩している方や犬の散歩の方でもお構いなし。なぜ歩行者が避けねばならないのかいつも憤る。

各自の意識改革。相手が止まってくれると思っている人が多過ぎる。

パトロール中の警察が自転車に対してもっと厳しく対応するべき。子供も大人も関係なく罰せられればいい(罰金) 事故をおこしたら命を落とす確率が高いのだから それくらいのことをしないとわからないでしょう。

小さな細い道では無理だと思いますが、大きな主要道路では、自転車専用道路をできるだけ確保してもらいたい。自転車マナー、交通ルールを、しっかり知っている人が少ないと思うので、もっと広告を出すなど…。

自転車道を一部ではなく広くしてほしい 車道横は狭いだけでなく、転んだらひかれる 車の横を走るのは極めて危険 新田町や池浦あたりにように自転車道を全面的に作ってください

警察等の街頭での積極的指導及び小中学・高校等での安全運転実技指導会の開催。

パトロールの強化、講習などをしていただけたらいいと思います。特に、子供は交通ルールをわかっていないので、危なく感じる事が多々あります。中学生にも自転車講習をしていただけたら嬉しいです。

高齢者には、自転車はその人に合っているか、のチェックをしたほうがよい。若い頃買った物をいつまでもそのまま乗っているから危ない場合も。自転車利用を推進するなら、高齢者が乗りやすい自転車の開発、広報はもちろん、乗り回しやすい道路にすることも重要だと思います。高齢者にやさしいということは、全ての人にやさしいことになるから。

守るべきマナーを面白く動画を作って配信するか、漫画にして分かりやすく覚えやすくする。

自転車マナーを守って乗ってる人を巡回して見つけたら、ポイントをあげてポイント貯まると何かと交換できるようにする

学校での教育の徹底(特に中高生)。通学路の徹底チェックが必要。あと、事故にあった場合のリスクについてしっかり認識させる必要がある。大人はリスクを理解しているが、中高生はしっかり理解できていない。

町内の回覧板に自転車マナーについてのチラシを入れたり、安城市広報に定期的に掲載してみる。

自転車を買ったら登録するときに自転車講習をつける

自転車の安全運転教育の実施。自転車購入時 安全運転教育受講の義務化。

自転車の車道の右側通行など、あきらかに道交法上違反であり危険な走行が自転車運転者に周知されていないと感じます。自転車運転者に対する講習や看板、ポスターなどでの注意喚起が必要だと思います。

自転車のルールの紙を回覧でくばる。

警察は自動車免許更新時に自転車の交通ルールを教える。安城市は学校や自治会に講習を行う。青パト講習会で自転車のルールを教えて、地域で指導してもらう。

ポスターなどの紙媒体だけではなかなか効果があがるのがむずかしいようなので、学生であれば学校で、一般・高齢者などであれば傘さし運転などは雨の日に実際にスーパーなどで指導するなど。

見つからなければ良いと思って運転している主婦の傘差しや若者のスマホ、信号無視や無灯運転者の学生をよく見かける 危険運転行為をもっとPRするべきで、自転車置き場や駅、学校の近くに違反行為の看板などを立て自覚してもらえないと思います また人員不足だと思いますが警察官の見回り、立っているだけでもマナー違反は減少すると思います

・街頭での指導(取締?)や小中高等学校での指導や自転車の同好会(グループ)などへの働きかけ等々
・ 自転車同好会などを巻き込んでの自転車の競技会、指導会の開催など

外国から来た方への交通ルール周知

定期的に子どもから大人まで楽しめる自転車イベントを行い、その際にマナーアップ教室や注意喚起を行うことで、楽しみながら安全に自転車に乗れる市民が増え、事故防止につながると思います。

現地における指導の徹底が一番。自転車通行にも道交法の適用があること、自転車道の通行区分や、また悪質違反は何かを知らない人がある。自転車は歩道上を通行するとの思い込みから(以前の指導)設置された自転車道も、利用されない。(特にデンパーク前)警察・市係員の現場指導が一番であるが、常時はできない、学校やいろいろな行事の場所で広報の実施し周知徹底すべきと思う。

補助輪なしで乗れる年齢、小学校低学年のときに、しっかりマナー教室や危険なことを体感させるような授業を徹底してほしい。授業参観でやれば親子で学べる。高学年、中高生は運転免許をとるときに見るビデオを見せ実感する

特に自動車の免許を取得していない人(小中高校生)は交通ルールを理解していないのもっと理解させるべき。
自転車にも免許を作り、数年に一度更新をする。もしくは、違反取り締まりを強化する。罰則も厳しくする。
標識による表示以外に図解で判りやすい表示を増やして欲しい。自転車の歩道走行可能の標識の位置が不明。
まず、自転車を否定し過ぎではありませんか？一日車で外回りの仕事をしていますが、自転車に対しマナーが悪いと思ったことなどありません。それと、このアンケートを実施されてる方は市内で自転車で走行したことあるんですかね？自転車に辛い道路状況を知ってもらいたい。自動車、トラック運転者のスマホ、携帯が遥かに多い。そっちの取り締まりを強化してもらいたい。
中学校に講習すべき。大人が普段から、子どもと一緒に時、安全な運転(車及び自転車)で、お手本を見せながら乗車する事が必須。
「自転車安全運転の意識向上」「道路交通法改正について」等を認識するためのマンガを中心として子供でも読めるパンフレットを(自動車運転者へ配布するものより簡潔・簡単で良い)自転車販売店が自転車を販売する場合必ず配布し啓蒙活動をする体制にする。自転車販売店にとっても自転車がより安全で魅力的なものになることはプラスになるはず。
自転車運転者は、道路交通法は自動車の運転者に対する法律であり、自分には関係ないと思っている人が多いのではないのでしょうか。市は全戸に自転車のマナー&法律を書いた冊子を配っていただきたいです。市から冊子が配られているので道路交通法を知らなかったは通用しないので、警察の方たちにはどんどん取締りをしていただきたいです。事故が起きてしまっは大変です。罰則があっても守らない人はいると思いますが、今は知らない人が多すぎると思います。
車みたい、年齢がきたら運転講習して運転が危なそう人には自転車も乗らないようにしてもらおう。など？
中学生が特に酷い。明らかにわざと並んで走っているのが分かるときがある。学校の先生に立ち当番をしてもらえないかな…
非常に気になるのが傘差し運転です。片手運転ですのでハンドル操作もブレーキ操作も遅れがちになり危険行為です。取り締まりは非常に難しいので駐輪場などに過去の災害事例を掲示したり、広報での呼びかけ、自転車通路帯に絵で表示、自転車を日常使用している市民に『STOP傘差し運転』と背中に蛍光塗料で記入したカッパを着用してもらおうとか、自転車通路帯表示の下に『禁;傘差し運転』の表示等検討ください。
新聞朝刊のコラムに、自転車マナーについての記事を毎日ヒトコマずつ掲載して、自転車に乗る側にもマナーを伝えていかないと、交通事故はなかなか減らないと思います。
自転車専用道や自転車走行帯などの整備がきちんとされていない道では、むやみに車道走るのをやめてほしい。また、そのように指導してほしい。
学生に対しては学校への出張マナー教室を行う。その時にスタントマンによるリアルな事故のパターンを映像でもいいので見せてあげると実感すると思う。一般や高齢者には免許証の更新の時にマナー講習を加えたり、広報に自転車に関わる事故について写真付きで紹介したり、地域ごとに集まりを催し講習会を行う。
金銭的ペナルティ、もしくは強制的に社会奉仕活動を課す等、罰則みたいなものを設けないとマナーは決して良くはならない。
よく事故が起こる場所に防犯カメラや、警察が見張るなどの取り組みをしてほしい。
交通講習会の開催ースーパー、コンビニ、小学校等 →修了証としてワッペンとかを自転車に貼る 自転車購入時の交通教育指導→自転車販売店の負担となるが交通ルールハンドブックの説明と手渡し 駐輪場での交通ルールハンドブックの配布と呼びかけ 巡回パトロールカーによる告知放送(できるようなら)

定期的チェック 注意すべき、箇所 道路が狭いところなど地図に表し広報に付けて全家庭に配る。

私は、安全に重要なのはマナーよりスピードダウンだと考えます。歩くようなスピードならよっぽど安全で加害はないと考えております。

市の方は、交通環境の整備が必要であると思います。道路が狭く、左側通行がしたくても、危険である。傘差しは、危険であるが、最近は、透明のかさを使用する人が多い。等、色々と原状にあわせて考える必要があるとおもいます。

自転車専用道路がないので車道を走るしかないのが危ない。15年ほど前商店街の歩道でベビーカーを押して歩いていたら横道から来た若者の自転車がぶつかってきてベビーカーと一緒に転んだことがある。商店街は路駐も多いので道路を自転車で走りづらい。商店街の駐停車を禁止にして自転車が道路の端を走りやすくしてほしい。

ケンサチによるまちづくりに自転車は最適で不可欠。その安全な利用促進は行政の責務。そのためには、市民とともにワークショップを開催し市民の創意で、また、職員の意識次第で政策が変わることのないように、きちんと自転車の安全な利用のためのマナー条例を制定し、市民団体と協働して肅々と実効性のある施策を行うことが肝要。

自転車も免許制にし、違反即罰金にすればよい。誰でも乗れる時代ではない。ただ、そのためのインフラ整備(自転車専用道路の拡充、路側帯の拡幅等。)も必要だと思う。

中高生は昔に比べてかなりマナーが向上したと思います。市や警察、学校側の努力が表れていると思います。指導が足りないと思う世代は自転車通勤者です。特に性能の良いスポーツタイプはスピードが出て音もしません。通勤で急いでいるので恐怖を感じる時があります。企業への働きかけを強化したらよいと思います。サラリーマンは勤め先から言われると無視出来ないもので効果が期待できますよ。

無料講習会を行い、受講者には自転車整備の無料券を配布するなどの特典をつける 学校や敬老会で雨カッパを無料配布する

車道の道幅が狭いのに、車道に自転車が走っていると、もし溝にタイヤが挟まって倒れてきたらと考えて怖い。車道じゃなくて歩道を走って欲しいし、無理なら自転車専用レーン、車道を広くするなどして欲しい。

市の職員が模範となる利用をし、日頃周囲の利用者に適切な利用を促す。

安城市独自にはなりますが、子供や高齢者も含む自転車運転免許証の交付をして違反者には減点を、満点運転者には市内有料施設(プールや堀内公園等)で割引サービスなどしてはいかがでしょうか？

特に自転車の運転について安全講習を徹底させる。特に中高生には学校で実技試験を受けさせ合格した者が乗れる様にして欲しい。

悪質運転者だけではなく、自転車に乗る全ての人に「自転車運転者講習」受講を義務化する。

まだ自転車に関して指導している場をみたことがありません。自転車も罰金対象になることをもう少し大きく取り上げたほうがいいと思います。CM、広告、等幅広く。

監視カメラの設置を駅周辺や一般道に。

時間に余裕を持って でかけるようにするよう啓発する。車道を走ることが必ずしも安全とは思えないので、歩道を歩行者に気をつけて走るように啓発する。

問9:交通事故を減らすためには、市や警察はどのような取組をすると良いと思いますか。(抜粋)

マナーの悪い運転者の取り締まりを強化する。
ゴールド免許に、割り引きクーポンや、お得なサービスが受けられるなどがあるといいな。
人身事故防止には制限速度を守らせるような対策が必要・速度を落とすようなカラー塗装の拡大 ・早めのライト点灯強化(暗くなっても点灯しない車が多い)・信号の無い交差点は左折の奨励 (遠回りになっても安全第一)(無理な右折や直進での事故を防ぐ)・暴走や無謀運転の取り締まり強化 等々
歩行者の無謀な横断など注意
交通事故の要因に渋滞による焦り、慣れない裏道の利用があると考えてます。 渋滞緩和するよう交通インフラ整備をお願いします。
・高齢者の事故が多いので、高齢者の方への交通教育を実施して頂きたい。 ・過去の事故分析をもとにした、運転者への教育。回覧板等による交通安全意識向上メッセージの伝達。 ・定期的な町内会単位の立哨。
自転車道と車道の交差(小さな)自転車のとまれでなく、自動車側をとまれにすべきでは? 自動車優先になっていてあぶない思いをたくさんしている。横断歩道で待っていても車は止まらない事が多く、関東では歩行者義務違反の取り締まりを多くしており、歩行者、自転車優先が浸透しているように感じる。安城では横断歩道での取り締まりを見たことがない!
高齢者の自動車運転の更新を65歳以上は、1年にする。80歳以上は、免許取り消し。取得する時は、年齢で決めているのだから取り消しもMAX年齢を定めるべき。
自転車道が少なすぎる。自動車と同じ道路で端の狭い白線内を走行するのは危険。法律だけ変えても、インフラが追いついていないのは大問題! しかも、インフラを整備する明確な計画が示されていない。市や警察の関係者全員が自転車を常に使って、自らどのような状況かを理解すべき。
道路標識をもう少し見やすい場所に設置してほしい。わからない場所にあると、気付かない…。
危険な運転をする人がいるので、罰則は必要ですが罰則だけでなく、良い運転をした人にご褒美的なものをするという考えも必要かな?とも思います。(免許更新時などにゴールド免許の人は何がもらえるとか)
死者数だけ示さず、人口何人中かの割合で考えるべきでは。また、車の所有台数なども関係してくると思うし。安城では、赤く塗られている交差点が増えて、効果あるのではないかと思います。信号のない交差点では、どちらが優先なのか、わかりやすく、表示してほしい。あと、安城は自転車利用が多いので、自転車が走りやすい道になれば、自然と減っていくと思うので、市や、警察の人は、役職者ほど毎日自転車通勤し、実態を体感してください。特に、悪天日!
歩車分離式の信号の設置を増やしたら どうでしょうか。
市:ビッグデータを活用し、急ブレーキ箇所の特定を行い、重点的な道路整備(路線の適正化) 警察:危険箇所の市民への周知と、安全運転のお願い、および、安全運転講習と安全運転者への表彰など。
市内の事故現場マップをウェブで公開して市民に危険箇所を周知する

事故後の遺族がどうなるかの動画をいろんなところで見せる

リスク教育の徹底。私は、自動車業界で働いていますが、私の会社も年々交通事故の会社からの指導は、厳しくなっている。その他の業界や中小企業の方々の教育徹底にもっと時間をかける必要がある。要は意識改革が必要です。自動車や、道路などのハードは、年々改新されるが、人間の意識はハードの改新より遅れている。最後は、事故を起こす人間の意識の問題と思います。

歩道・自転車道・車道を区分した道路をもっとふやす 信号交差点に、歩行者用信号をもっとつけてください 道路に街灯をもっと増やす。桜井地区は真っ暗な道が多く、車で走ると道の端がよく見えません。歩道のない道路も多いので夜は自転車や歩行者が車に近づく直前まで見えにくいです。

交通事故死213人でした…の報告だけで終わってないか。要因は？それに対する対策は？対策をうった効果は？

取り締まりの強化。学校や会社、老人クラブ等の各世代の組織や個人に対しての事故防止の安全教育の徹底する。

交通安全の呼び掛けの推進を町内会、企業、学校へ協力依頼をする。

最近、近所の通学路で赤や緑の色で注意を促す舗装がされてましたが、一部だけなので、もっと広範囲で色の舗装がされるといいと思います。

車のドライバーは、信号のない横断歩道で渡る人を見ても無視して通り渡りづらく、横断歩道手前でも止まらなく、歩行者が横断歩道を渡っているのに、クラクションを平気で鳴らされる事もある（JR安城駅の東側の踏切直線道路や、JR安城駅南側の銀行付近、朝日町商店街の（神谷クリニック）付近など）自転車運転者、歩行者には夜間時は反射ベストの着用を配布し義務化に。自転車に乗る大人用のヘルメットも被りやすい物を開発して、義務化に。

交通安全の啓発を今以上にしてほしい

自転車運転中は、イヤホンで、音楽を聴いて、周りの音が聞こえないのは、取り締まってほしいです。スマホをしながら、イヤホンで音楽を聴くのを、取り締まってほしいです。高齢者の道路への飛び出しの注意、マナー講習が定期的であれば、いいと思っています。子供の事故は、飛び出しも多いですが、車の運転者が悪い場合もあります。でも、一般や高齢者は、相手が悪い場合も多いと思います。車同様、スマホとイヤホンの自転車運転者の罰金など過失に問われてほしいです。

◎自動車以外の通勤を推奨する(公共交通機関の充実化、徒歩の推進) ◎時差出勤の推奨 ◎繁忙感の緩和を図るため、リラックス手法の講座を広める

運転の荒い人は誰も見ていないから無理運転をしてしまうと考える。そこでドライブレコーダーを市や警察が推奨し、自動車同士が監視しあう社会を作れば事故は減るのではないだろうか。市がドライブレコーダーの購入資金の一部に補助金を出せば導入者も増え事故が減る考えられる。

ライトの点灯や反射材の使用は、夜間自動車運転者に気が付いてもらえるために必要なもので、これは積極的にアピールしてもらいたい。

大人は教育しても無理なので、まずは子供に交通安全の教育を行なって、20年30年後を目指してはどうでしょうか。

消えかかった停止線、交差点の直近等マークや線をを明白に 道路の拡幅

夕方には自動車はライト点灯・歩行者は反射材着用など徹底させると良いと思う。また、高齢者に対しての講習は健康診断などと同時に実施すれば、認知症の早期発見もでき、徘徊による事故などを未然に防げるのではないかなと思う。

信号機や交通標識、カーブミラーなどの増設をすすめてほしい。交通の妨げになる道路上に出ている樹木の伐採を当局の責任でしてほしい。交通安全に関する道端の旗を復活してほしい。

自動車を作る会社も企業努力をもっとしていただきたいと思います。車を売るだけでなく道路の整備とか啓発活動とか・・・

取締りの強化以外に効果は無いと思います。とりわけ、自動車運転者は法令を無視した危険な走行を日常的に行っている。国道、県道、市道はもとより集落内の生活道路においても速度や一旦停止を守らない走行が常態化している。交通ルールは誰でも知っているが守らないのであるから、運転者への啓蒙活動はおこなう必要は皆無であり、この労力は無駄の一語に尽きると思います。取締りの強化に徹すること以外に交通事故を減らすみちは無いものと思います。また、業務上過失致死の刑料はじめ違反点数制も極めて甘く、再犯の戒めになっていない。

自転車も自動車も 技術的なもの+マナーが大切だと思います。そういうものの大切さにふれる啓発イベント 声かけを人が集まるところでしていくこと 幼稚園で親子で歩き方教室 小中学校では親子で自転車と歩き方教室 高校では自転車 歩き方教室を開催する 全て市と警察が主催でしていただくといいと思う。幼いころから繰り返して興味を持たせることは交通事故をなくすことに繋がると思う。

横断歩道で停止しない車が非常に多い。注意を促してほしい。

歩行者と自転車と自動車の車線をそれぞれに分離させていただきたいです。また、歩道の草が伸び放題で多少歩道が広くとってあっても自転車と歩行者と一緒に通行できない道路が多く見られます。歩道の手入れも行っていたいただきたいです。

パトロールが一番だと思います。パトカーが目に入る事が多いと気を付けようと思える。車の運転をしない中学年や高校生には、なかなか伝わりにくいと思うので自転車での交通事故の映像とか、実際に見せたり感じてもらえると良いと思います。

違反や事故を起こさない人は自動車税の減税、起こした人は自動車税の増税プラス反則金を課す。

3年間無事故無違反の世帯に粗品や安城市で使えるクーポンを贈呈する。

高齢者が車を使わなくても良い、街作りが必要であると思います。最近、高齢者による、死亡事故が多いと聞きます。では、現状、高齢者が、車を使わなくても良い社会環境か、という必ずしもそうではないと思います。使う必要があって使っているのです。では、使わなくて良い社会環境を作ってほしいと思います。

全国ワースト1は、愛知県全体を見ての事で安城だけをみた数字ではない。多分殆どが名古屋でしょう。まずは県内市町村毎の数値を出して欲しい。一括りにすべきでない！

11/6(土)マツバホールで認知症講習会を受講した際に警察署からも高齢者の運転免許の話があった。その中で歩行者の安全を守るという意味で横断歩道を渡ろうとする歩行者がいた場合は一旦停止をと言ってくれると思っていたが残念ながらなかった。この法規は知らない人がとても多い。どうかもっと周知してほしい。

・信号交差点でも横断歩道が三か所しかなくて大回りをしないと道を渡れない所があります。歩行者が渡りやすい交差点にしてください。・歩道橋が設置されると横断歩道が撤去されることが多いですが、自転車やベビーカー、シルバーカーを押す歩行者は歩道橋を上がるのはとても大変です。

スマートフォンの普及で前方不注意が多くなったのではないかと思います。以前は余り聞かなかった若い女性による悲惨な事故を新聞等で目にします。直接、運転者に働きかける街頭での地道な指導や取り締まりを続けることが、やがては数字に表れてくると思います。特効薬はありません。

渋滞解消に向けた道路整備(信号バランス含む) 混むと渋滞の列はもちろん、時間がかかることによるイライラ・渋滞後のスピードアップ・確認がおろそかになるなど通常運転時と異なる状態になりやすく事故が発生する

ゾーン30の地域を積極的に増やしてほしい。

警察は取り締まりのための取り締まりではなく、パトカーが赤ランプを点灯して頻回且つ隈なく巡回すると一定の効果はあると思います。市としてはそれこそ難しいと思いますが、自転車道・歩道を確実に整備して頂きたいです。そのために多少の車道幅員減少は、すれ違いに困るほどでなければ止むを得ないと思います。

高校生の並進自転車運転の取り締まり。